別紙３

融 資 審 査 の 考 え 方

融 資 審 査 の 視 点	具 体 的 な 着 眼 点 ・ 判 断 基 準	備　　考
１　これまでの経営状況	○　経営者の能力（技術レベル、経営マインド、生産物の単収・品質、生産コスト、資産等）はどの程度か ○　経営力を背景とした収支実績、財務内容、資金繰りはどうか（家族経営の場合、家計も含めて分析） ○　経営上の問題点は何か ○　経営内容が悪くなった理由は何か	必要に応じ普及指導センター・市町村等に照会
２　経営改善計画の妥当性及び実行可能性	○　経営改善計画の実行により、確実に経営改善が図られるか ○　経営者の能力（現在の技術レベル、経営マインド等）からみて達成できるか ○　経営改善計画の内容が過大投資になっていないか	同上
３　収益改善見込み及び借入金の返済確実性	○　収益予測の算出基礎となっている単収・単価等は無理のないものか ○　償還見通しはあるか（家族経営の場合、家計費も含めて判断） ○　収支計画において、単年度の収支（差引余剰）はプラスになっているか。マイナスの場合、補填する見通しはあるか ○　農業共済又は収入保険に加入するなど、当該作目が被災したり、需給・価格動向がある程度変動したりしても償還可能となるよう検討されているか ○　個人経営体について、農作業事故等のリスクに対して労働災害補償保険に加入するなど、労働法制に係る取組が遵守されているか	同上